

# 未来へ(東中だより)

第5号 令和3年6月23日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ  
「知性・感性・耐性」を  
共に高める生徒の育成



TEL: 0952-52-2529 Fax: 89-2079

<https://www.education.saga.jp/hp/higashisefuri-j/>

## 多角的な見方で 全校集会 6月16日(水)の話から

**作家** ダン・ブラウンの「オリジン」という小説を最近読みました。主人公ロバート・ラングドンが、数式を地面に書いて、美術館長に尋ねるシーンがあります。「 $I + XI = X$ 、これは正しいでしょうか。」と問う場面です。「 $1 + 11 = 10$ 」だから、私は正しくないと思いました。しかし、地面をまたいで反対側から見ると、「 $X = IX + I$ 」と見えるので正しいというのです。なるほど、「 $10 = 9 + 1$ 」となり、正しいですね。視点を変えると、違ったものが見えてくるということを、主人公はいいなかったのだと思います。

**例えば**、AさんがBさんに名前をもじったニックネームをつけて呼んだとします。そんな時、Bさんはちょっと間を置いて愛想笑いをします。Aさんは場を和ませようと思って、冗談のつもりで呼んだのでしょうが、見方を変えてBさんの側から見ると、けっこう傷ついていたり、嫌だなと思っていたりすることがあります。

**また**、社会の授業で、あるAという国のワインの輸出量が多いことが問題になったとします。なぜ輸出量が多いのかという問題を解決するために、みなさんだったらどういうところに目をつけるでしょうか。ある人は、ワインの原料のブドウに目をつけ、生育環境(気候・土壌)が適していたからだと理由づけるでしょう。別の人は、Aという国の農業の歴史に解決の糸口を探るかもしれません。また別の人は、Aという国を取り巻く国との関係や経済に目を向けるかもしれません。そういう色々な視点・見方から物事を解決するのは、とても好ましいことです。

**身近な物事も** 学習課題も人間関係も、色々な視点から、言い換えれば「多角的な見方」で見ていくことで、最適な答えが見つかるものです。ぜひみなさんも、考えてみてください。

東中生みんなで頑張る  
HGS!  
H...表情豊かに よい挨拶!  
G...学力高める 時間の管理!  
S...精一杯の 自問清掃!

$$I + XI = X$$

(1 + 11 = 10)



$$X = IX + I$$

(10 = 9 + 1)

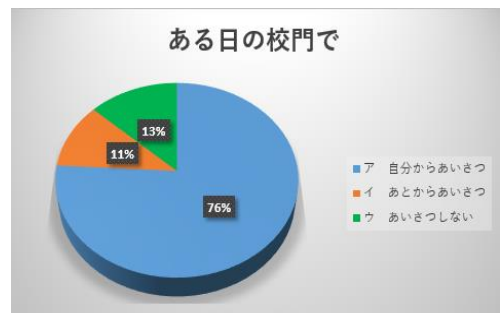


## 6月のある日の校門で 調べてみたら

私は仕事や出張で無理なとき以外は、南や北の校門に立って、朝の挨拶をしながら生徒のみんなを迎えるように心がけています。「H...表情豊かに よい挨拶」を、私も実践しなければいけないと思うからです。感覚的には、8割ぐらいの生徒が挨拶をしていると思っていたのですが、実際にはどうだろうかとカウントしてみました。

結果は、右のグラフのように、「自分からあいさつ...76%」「あとからあいさつ...11%」「あいさつしない(したかどうかわからない)...13%」となりました。9割近くの生徒が挨拶をできていることがわかりました。でも残念な部分は、緑色で示される13%でした。

キャッチボールをしていて、相手のボールを取ろうとしなかったり、投げ返さなかったりする人は、おそらくいないでしょう。グラフの緑色の部分が小さくなっていくことを願っています。



# ましろの会による読み聞かせ (6月8日)

6月8日(火)は、今月の読み聞かせ(読み語り)の日でした。どの学年の、どの教室をのぞいても、「ましろの会」の皆さんの読み聞かせに目と耳を集中させる生徒の姿が見られました。毎月1回のこの時間を楽しみにしている生徒も多いのではないのでしょうか。

読み聞かせを終えられた会の皆さんにインタビューをしてみました。

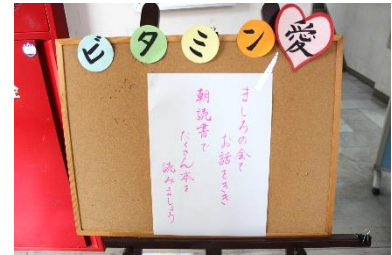
Q:「絵本を選ぶのも大変でしょうね。どんな観点で絵本を選ばれているのですか。」

A:「だいたい10分で読めそうなものです。季節や学校行事に合わせて選ぶこともあります。」「私は絵について、遠目がきくものを選びます。」「教科書に載っていることに関係のある本や、実際にある地名が出てくるような昔話なども意識して選んでいます。」

Q:「読み聞かせのために、何回か練習をされるのでしょうか。」

A:「本によっては2, 3回どころでなく、何回も練習しなければなりません。口がなめらかに動くように。」

時間を作って練習してきていただいている「ましろの会」の皆さんには本当に感謝しています。「歳と共に目も口も……。」とつぶやかれていましたが、会の皆さんの若々しい語り口は、まだまだ生徒たちを魅了していくと思います。



# 生徒集会で (6月9日)

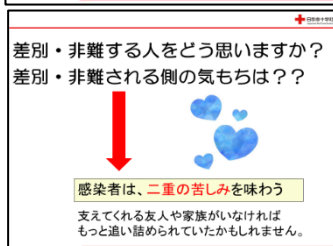
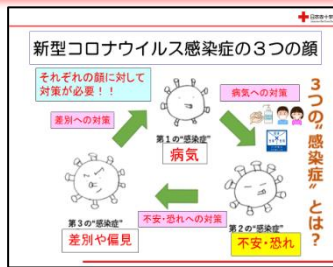
6月9日(水)の生徒集会で JRC 美化・奉仕部から、「コロナ禍での差別や偏見をなくす取り組み」が提案されました。

日本赤十字社佐賀県支部から取り寄せた資料を活用しての話でした。

新型コロナウイルスにより生じるものは、1つめが病気そのものであり、2つめが感染への不安や恐れである。そして、その不安や恐れから、3つめの偏見や差別が生じるという話でした。

不幸にも感染した人は病気でつらい目にあい、差別でまたつらい目にあうこととなります。こういう時だからこそ、人は支え合う事が大事です。

非常に分かりやすい説明により、生徒の多くが理解できただろうと思いました。



# ☆今後の予定☆

- 6/24(木)フッ化物洗口 教育相談
- 6/28(月)地区中総体選手激励会
- 6/29(火)色覚検査3A
- 6/30(水)色覚検査3B
- 7/ 1(木)フッ化物洗口
- 7/ 3(土)地区中学校総合体育大会
- 7/ 4(日)地区中学校総合体育大会
- 7/ 5(月)生徒会各部委員会
- 7/ 7(水)生徒集会
- 7/10(土)地区中学校総合体育大会

# 高校訪問

## ☆先日、神埼地区の中高連絡協議会が、神埼高校の新校舎で行われました☆

その折に、新しい校舎を見せて頂きました。外の光を取り入れるガラス張りの外観と、木の温かさを生かした内装が特徴的だと感じました。また、体育館の広さにも驚きました。8月に引っ越しを終えるとのことでした。制服も変わるそうです。

